

現状問題

理想像

要因・背景

- ① データ共有（部署間）
 - 各部署によって持っているデータが異なる
 - スムーズにデータ収集ができない

共通のデータベースを参照できる仕組みをつくる

- 各部署が独自のシステムで管理してしまっている
- データの一元化ができていない

- ② システムの管理
 - システムのカスタマイズが多すぎる
 - システム連携の全体像をわかっている人がいない

システムを管理・統括する部署をつくる

- 大学全体の情報をまとめる部署がない
- システム導入のフローができていない

- ③ 業務効率化
 - システムの有効活用ができていない
 - 業務のスリム化ができていない

ペーパーレス化し、学生への配布資料を減らす

業務の担当部署を明確にする

- 運用ルールが明確になっていない
- 業務フローの可視化ができていない
- 部署間のローカルルールが多く、連携ができていない

問題

学生情報の分析に必要なデータがスムーズに収集できない

要因

- 各部署にデータが散在している
- データの形式が統一されていない

データを学生支援等に有効活用しようとする意識が不足している

実施施策

情報の利活用に対する意識改革

- データのフォーマットを統一
- 最新のデータを参照、出力できるようにする

課題

- 他部署の理解が必要
- データ出力のシステム作り、アクセス権の設定

実現

学修成果の可視化

教職員

退学者予備軍の早期発見

↓
サポート

学生

自己の振り返り

↓
就活のES